



ピアノ
仲道 郁代 Ikuyo Nakamichi

日本音楽コンクール、ジュネーヴ国際音楽コンクール、メンデルスゾーン・コンクール、エリザベート王妃国際音楽コンクールなど数々のコンクールで優勝・入賞を重ねる。これまでに国内はもとより海外の著名なオーケストラと多数共演。CDはソニー・ミュージックジャパンと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞CDを含む「ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全集」等、高い評価を得ている。2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 Road to 2027プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。

仲道郁代オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

(c) Kiyotaka Saito



N響チェンバー・アンサンブル



第一ヴァイオリン
宇根 京子

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。NTTドコモより奨学金を授与される。同大学研究科を修了後、スイス政府給費留学生として2002年国立チューリヒ・ヴィンタートゥール音楽大学ソリストディプロマコースに入学。2004年最高位でディプロマを取得し卒業。宮崎国際音楽祭、小澤征爾音楽塾、トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ等に参加。1998年神戸国際学生音楽コンクール県知事賞、東京室内楽コンクール第1位。2002年バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第6位。中村静香、小林健次、ジョルジュ・パウクの各氏に師事。2006年4月NHK交響楽団入団。ストリングカルテット響、秋桜String Quartetのメンバー。



第二ヴァイオリン
横溝 耕一

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、桐朋学園大学卒業。第14回日本クラシック音楽コンクール高校の部弦楽器部門全国大会にて第5位入賞(1位2位空位)等多数受賞。2006年Verus String Quartetを結成し、ヴァイオラ奏者として第57回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位入賞。これまでに宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、ラヴェンナ音楽祭等に参加。ヴァイオリンを小川有紀子、小森谷巧、堀正文、徳永二男の各氏に師事。室内楽を徳永二男、毛利伯郎、原田幸一郎、藤井一興、川本嘉子、ライブツイヒ弦楽四重奏団、マティアスタック、アンドラーシュ・ケラー、東京クワルテットの各氏に師事。現在NHK交響楽団ヴァイオリン次席奏者としての活動の他、ヴァイオラ奏者としても各地のオーケストラに客演している。



ヴァイオラ
飛澤 浩人

桐朋女子高等学校音楽科(共学)、同大学音楽学部卒業。卒業後、ヴァイオラ奏者の店村真積の薦めによりヴァイオラに転向。1990年、第101回神奈川県立音楽堂推薦演奏会で第3回新人賞受賞。同年よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして公演に参加。92年、フランスの第4回モーリス・ヴュー国際ヴァイオリンコンクール第2位(1位なし)。95年、文化庁在外芸術家研修員としてパリに留学。97年、パリ・エコール・ノルマル音楽院でコンサート・ディプロムを満場一致で取得。フランス国立ペイドゥ・ラ・ロワール管弦楽団にヴァイオラ第2ソリストとして入団。帰国後、2006年にNHK交響楽団入団。これまでにヴァイオラを店村真積、ジェラルド・コセの両氏に師事。秋桜String Quartetのメンバー。夫婦で藍住町と縁のある今回の公演のコーディネーター。



チェロ
藤森 亮一

京都生まれ。11歳よりチェロを始め、京都市立堀川高等学校音楽科を経て、1982年東京音楽大学に入学。同年第29回文化放送音楽賞、83年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位、86年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門斎藤秀雄賞を受賞。これまでにワルター・ノータス、徳永兼一郎、上村昇、河野文昭の各氏に師事。現在NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める他、モルゴーア・カルテット、ボア・ヴェール・トリオ、チェロ四重奏のラ・カールティーナ等、数多くのアンサンブルで活躍。モルゴーア・カルテットとして98年村松賞、2011年アリオン賞、17年JXTG音楽賞受賞。08年京都府文化賞功労賞受賞。東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師を務め後進の指導にも当たっている。



コントラバス
矢内 陽子

群馬県伊勢崎市出身。13歳からコントラバスを始め、洗足学園音楽大学を優秀賞を受賞し卒業。同大学大学院を首席で修了。在学中、洗足学園音楽大学フィルハーモニー管弦楽団とコントラバス協奏曲を共演。秋山和慶氏による若手育成オーケストラ、洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団の一期生、首席として研鑽した後、NHK交響楽団入団。矢吹けさみ、金岡秀典、井戸田善之の各氏に師事。文野充徳、石川滋、Esko Laine、Klaus Stoll各氏の公開レッスンやマスタークラス等を受講。現在、NHK交響楽団楽員、洗足学園音楽大学講師。



クラリネット
加藤 明久

高校2年の全国大会で審査員の大橋幸夫(N響)に見出され、国立音楽大学に入学。在学中から東京クラリネットアンサンブルなどで音楽活動を始め、卒業時に矢内都賞受賞。民音室内楽コンクール優勝。第1回および第2回日本クラリネット・コンクール入賞。ミュンヘン国際コンクール室内楽部門ファイナリスト。1990年にNHK交響楽団に入団。2019年に退団し、今春から昭和音楽大学教授。武蔵野音楽大学非常勤講師。



トランペット
菊本 和昭

京都市立芸術大学首席卒業、同大学院首席修了。フライブルク音楽大学、カールスルーエ音楽大学にて学ぶ。京都市交響楽団を経て、2012年よりNHK交響楽団首席トランペット奏者に就任。第19回日本管打楽器コンクール第1位、第72回日本音楽コンクール第1位及び増沢賞、E.ナカミチ賞、聴衆賞等の国内のコンクールをはじめ、済州プラス・コンペティション第2位、リエクサ国際トランペット・コンクール第3位、エルスワース・スミス国際トランペット・ソロ・コンペティション第2位およびChosen Vale賞等、国際的なコンクールでも多数受賞。京都トランペットグループ「SummerBreeze」、ジャパンプラスコレクション、いずみシンフォニエッタ大阪の各メンバー。東京藝術大学非常勤講師。母は日和佐町(現在の美波町)出身。姉は藍住町在住。